

第14回県政インターネットモニターアンケート集計結果  
南海トラフ地震についての県民意識調査

※グラフの中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

※各回答項目の割合(%)は、端数処理の関係上(小数第二位を四捨五入)、合計が100%にならない場合がある。

○南海トラフ地震についての県民意識調査

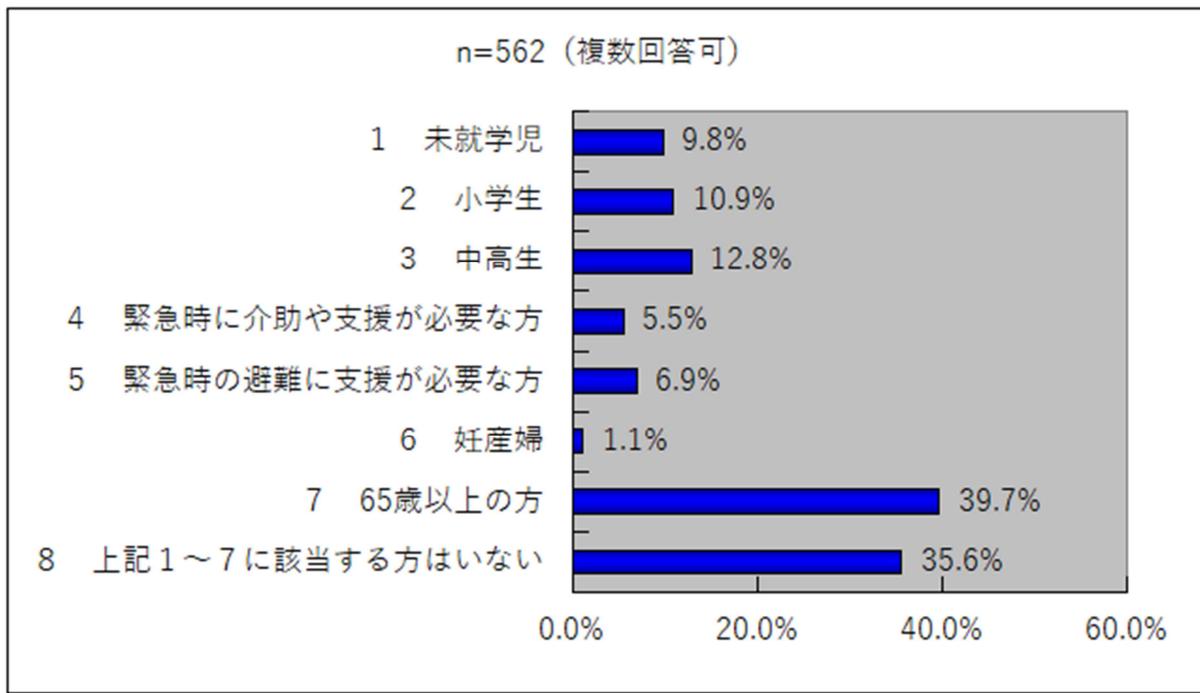
静岡県から西日本にかけての広い範囲で大きな被害が想定される「南海トラフ地震」はいつ起きてもおかしくないと言われています。

県では、県民の皆様の巨大地震に対する考え方や日頃の備えなどについてお伺いし、今後の防災啓発事業を進めていく上での参考にさせていただきたいと考えております。

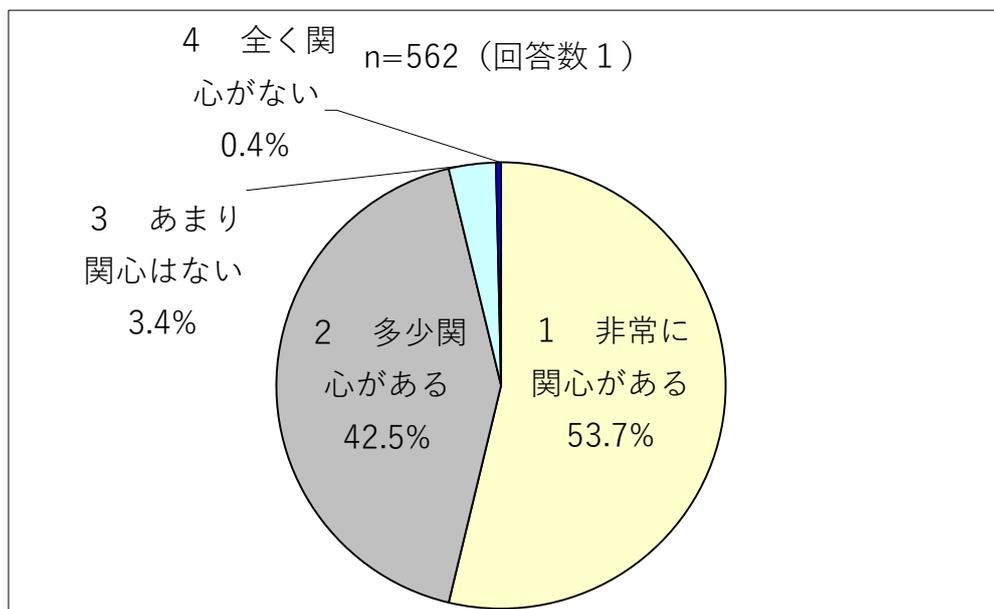
回答者数：562人（回答率：83.8%）			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	228	40.6%
	女性	332	59.1%
	その他	2	0.4%
年代	10代	8	1.4%
	20代	43	7.7%
	30代	62	11.0%
	40代	93	16.5%
	50代	154	27.4%
	60代	117	20.8%
	70代	64	11.4%
	80代	20	3.6%
	90代	1	0.2%
住所	賀茂	3	0.5%
	東部	177	31.5%
	中部	224	39.9%
	西部	156	27.8%
	県外	2	0.4%
職業	自営業	41	7.3%
	会社員	176	31.3%
	公務員	17	3.0%
	パート・内職従事者	111	19.8%
	学生	42	7.5%
	無職	148	26.3%
	その他	27	4.8%

○ 南海トラフ地震についての県民意識調査

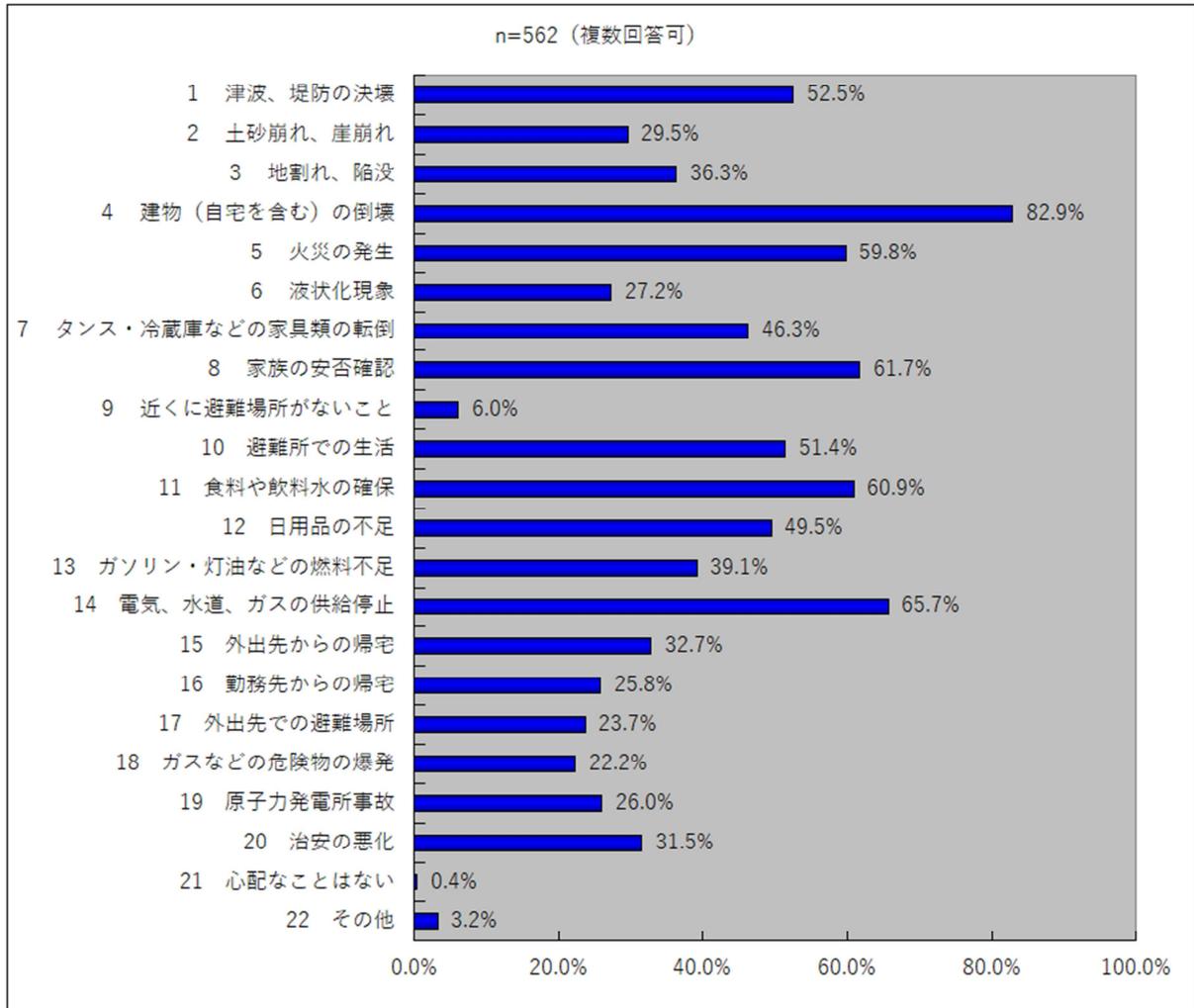
問1 同居されている方のうち、次に該当する方がいますか。(複数回答可)



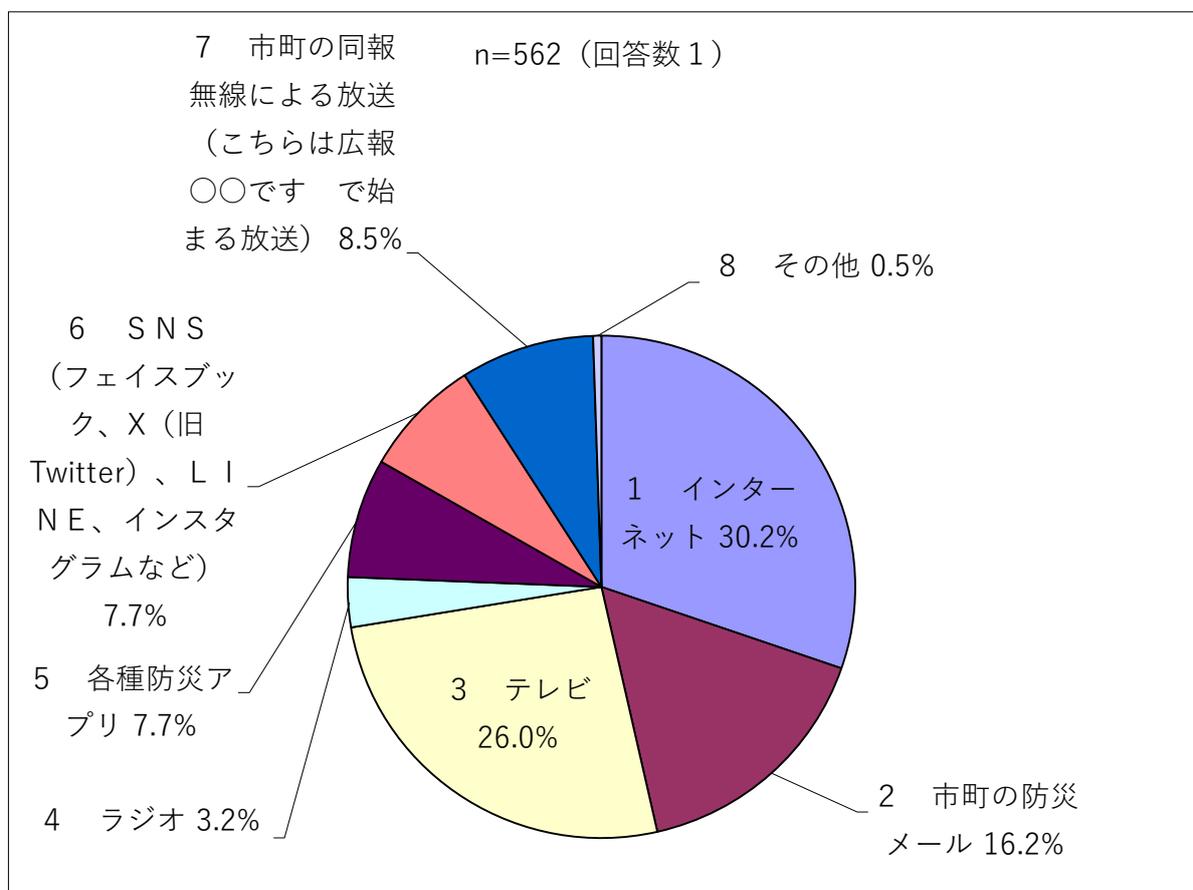
問2 あなたは現在、南海トラフ地震にどの程度の関心を持っていますか。(回答数は1つ)  
 ※「南海トラフ地震」は、関東地方から九州地方の広い範囲で強い揺れが発生し、静岡県内でも震度6弱から6強、一部では震度7となる可能性があります。また沿岸部では、3mを超える大津波が各地で発生し、一部では、20mを超えると想定されています。



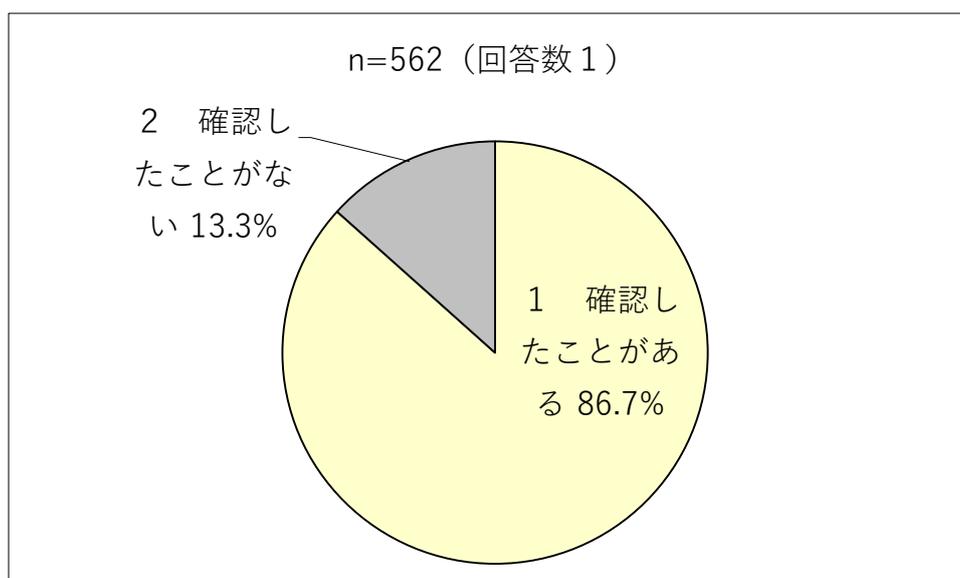
問3 あなたは、南海トラフ地震が起きた場合、どのようなことが心配ですか。(複数回答可)



問4 日頃、大雨警報や避難情報など緊急時の防災情報を主にどのような手段で入手していますか。(回答数は1つ)

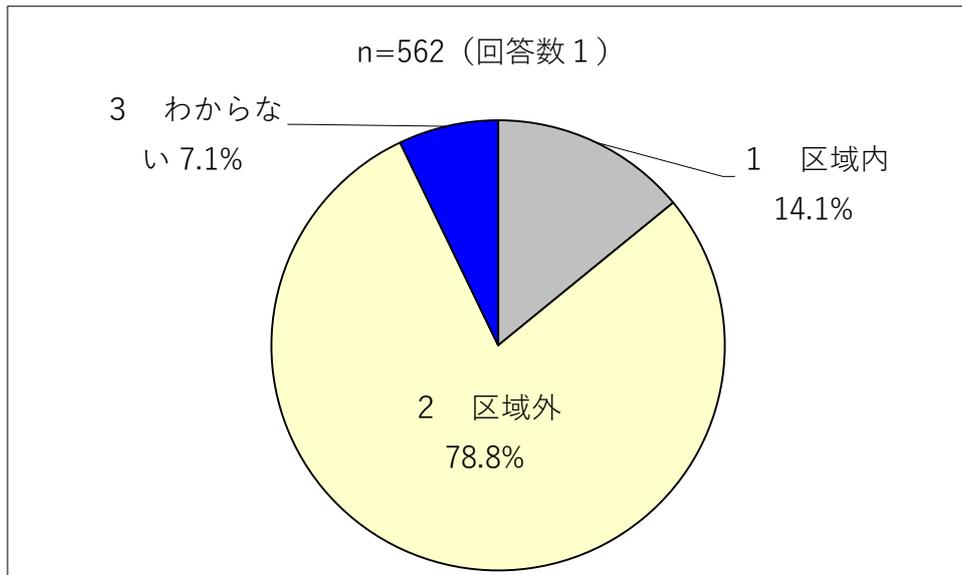


問5 自宅の周辺をハザードマップなど(災害の危険度を示した地図)で確認したことがありますか。(回答数は1つ)



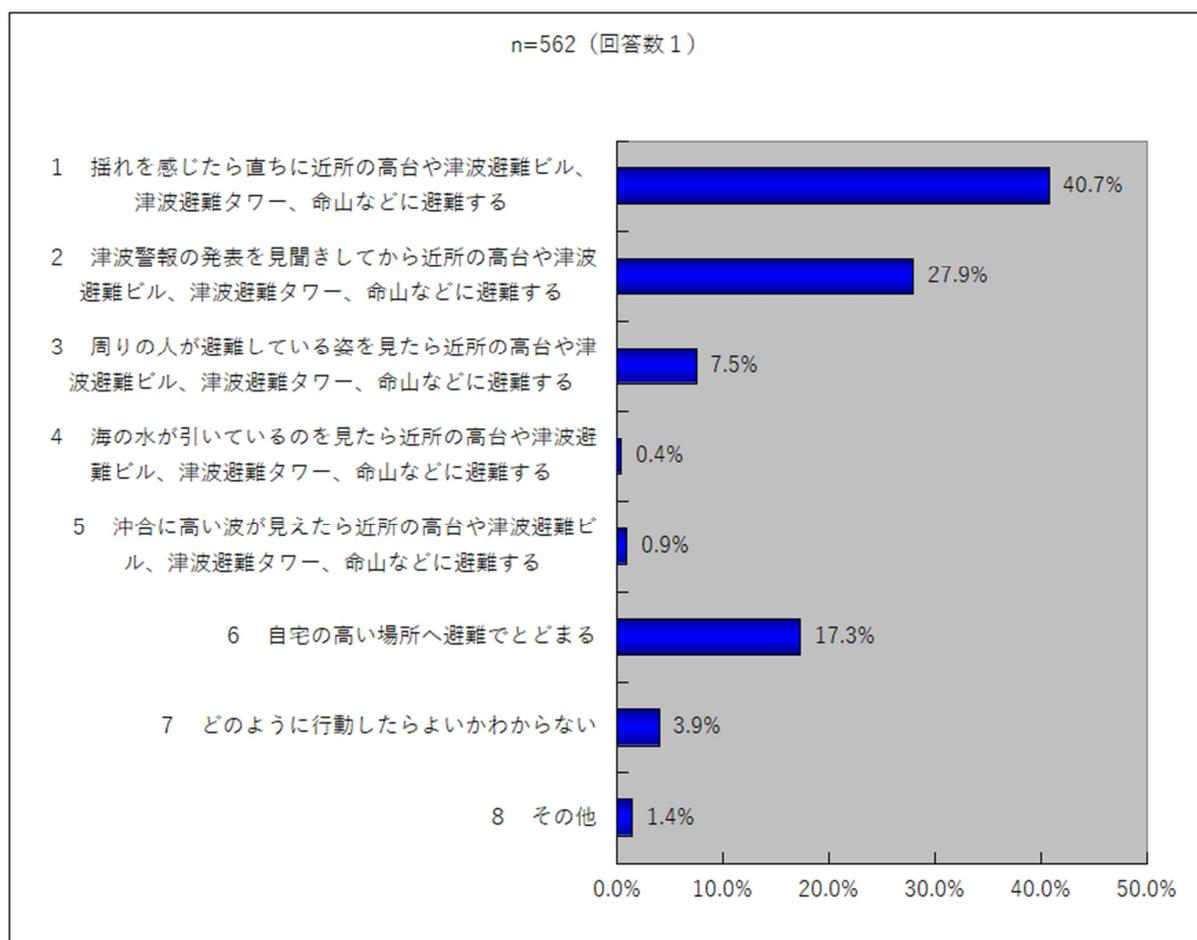
問6 あなたの御自宅は津波浸水想定区域内ですか。それとも区域外ですか。御不明な方は、市町の防災マップ、又は、以下のLINKで津波浸水想定区域を確認することができます。(回答数は1つ)

<https://www.gis.pref.shizuoka.jp/?z=14&ll=34.809967%2C138.324478&t=roadmap&mp=11001&op=70&vlf=00080000000000000008>

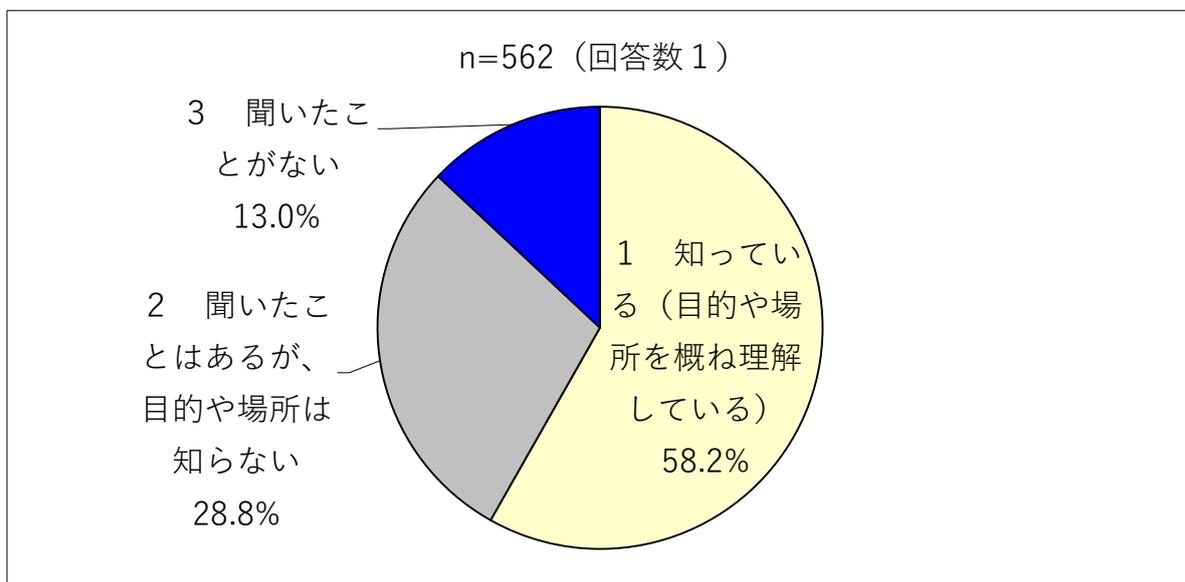


問7 津波に対する行動について伺います。浸水想定区域にお住まいの方は自宅や自宅周辺で地震にあった場合を想定してください。それ以外の方は沿岸部を訪れていて地震にあった場合を想定してください。【前提条件】のような大きな地震が起きた場合、あなたはどのように行動しますか。(回答数は1つ)

【前提条件】突然、震度6強以上の地震(立っていることが困難な揺れ。家の中では固定していない家具類はほとんど倒れ、津波警報が発表される。)が起きた場合を想像してお答えください。

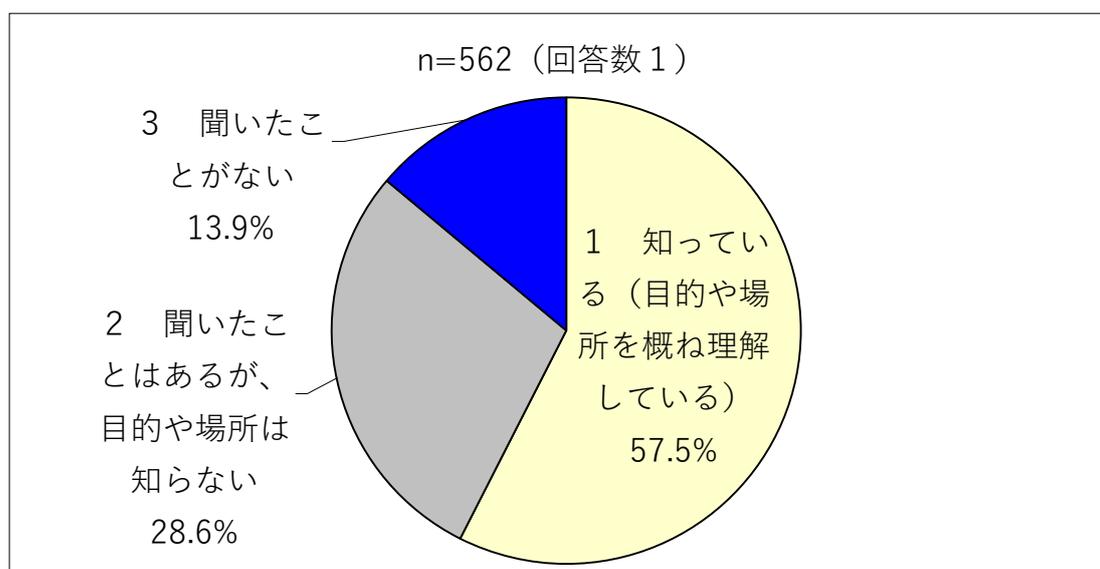


問8 災害が発生したときの避難のため、市町はあらかじめ緊急避難場所を指定しています。また、緊急避難場所には災害種別ごとに指定があります。あなたは知っていますか。(回答数は1つ)



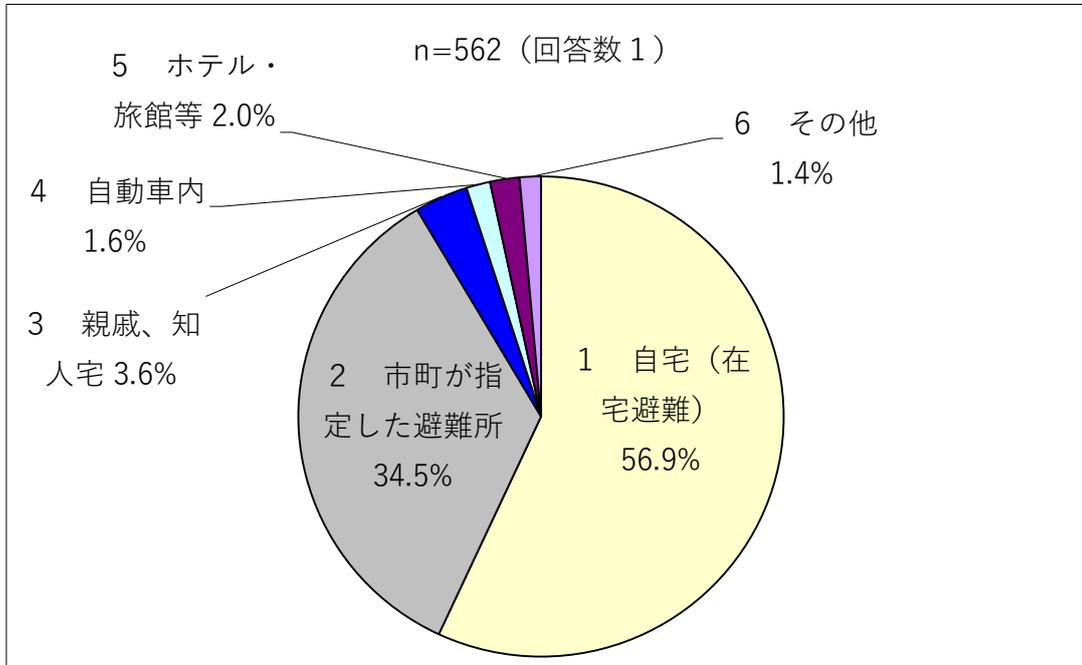
問9 市町は避難をしてきた人が一定期間滞在(生活)する施設をあらかじめ避難所として指定しています。あなたは知っていますか。(回答数は1つ)

指定避難所については、防災マップによる確認、避難場所周辺に掲げられた看板で確認するか、お住まいの市町の防災担当課へお問合せください。また、静岡県総合防災アプリ「静岡県防災」でも確認ができます。

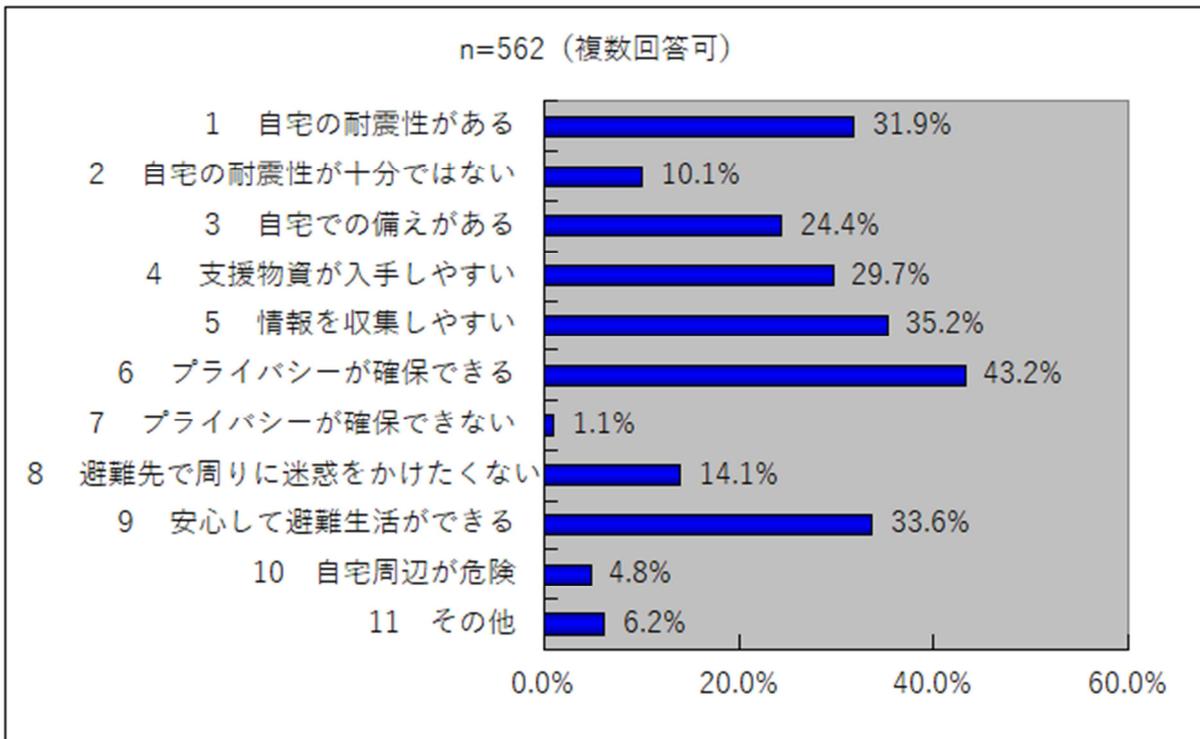


問10 災害発生後、避難先として考えている場所をお答えください。(回答数は1つ)

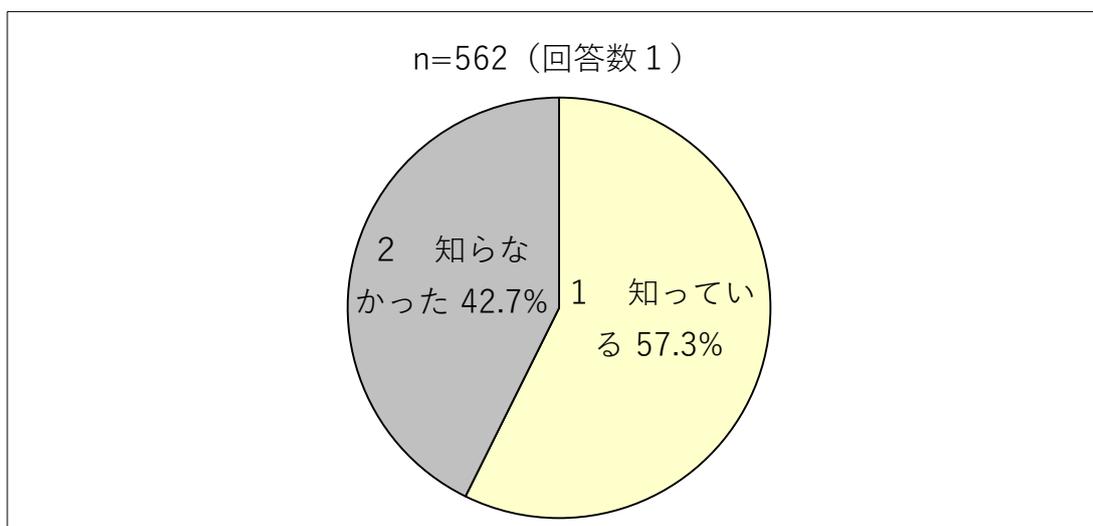
※避難先に被害があり避難できないことも考えられますが、災害時をイメージし、避難先として選択する可能性が高いものをお答えください。



問10-2 問10の避難先を選択した理由は何ですか。(複数回答可)

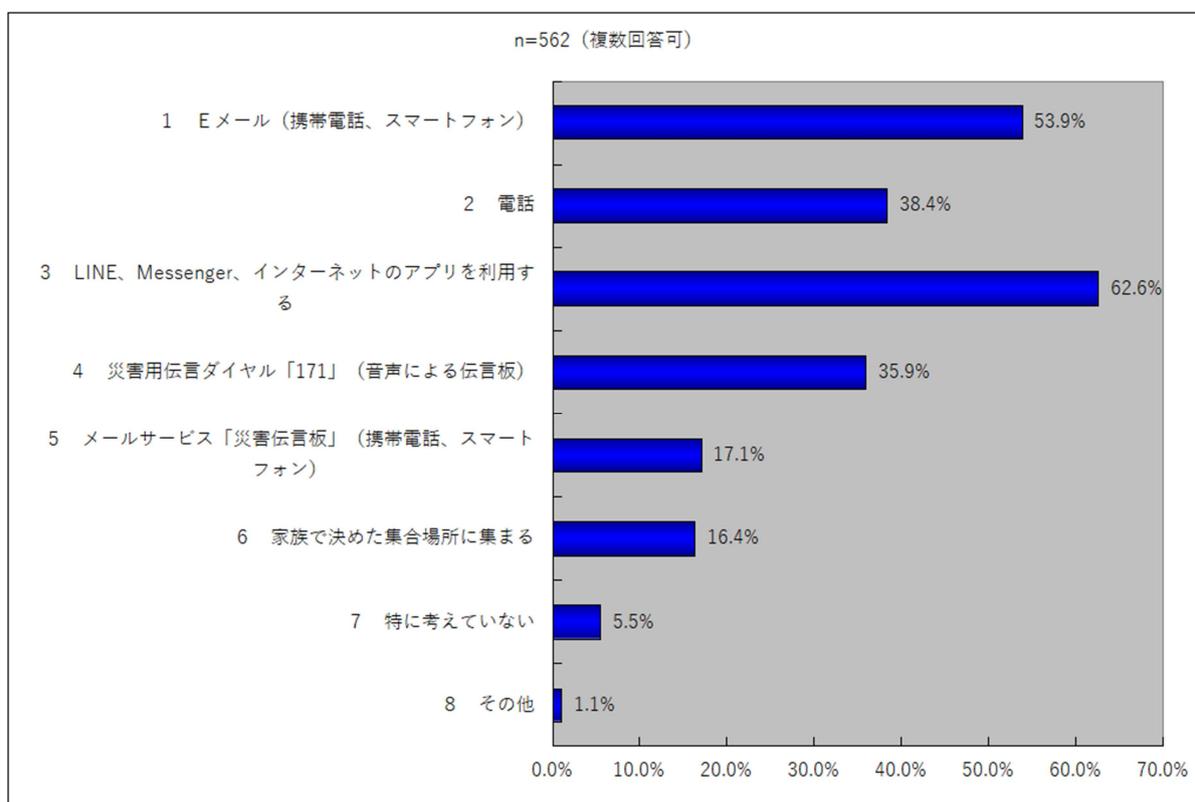


問 11 避難所で一定期間避難生活を行う場合、避難所利用者が主体となって避難所運営を行うことを知っていますか。(回答数は1つ)



問 12 地震が起きた際に、離れている家族と安否を確認する手段として何を使うことを考えていますか。(複数回答可)

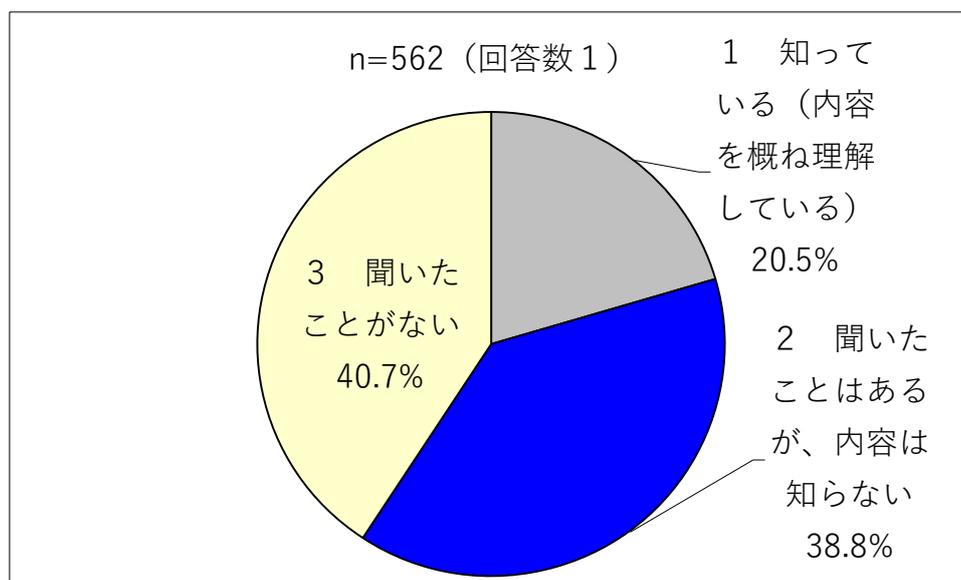
※南海トラフ地震発生時には通信機器の破損や回線の混雑により、家族等と連絡がとれなくなる場合があります。日頃から複数の手段で家族の安否が確認できるように家庭内で話し合い、訓練をしておきましょう。



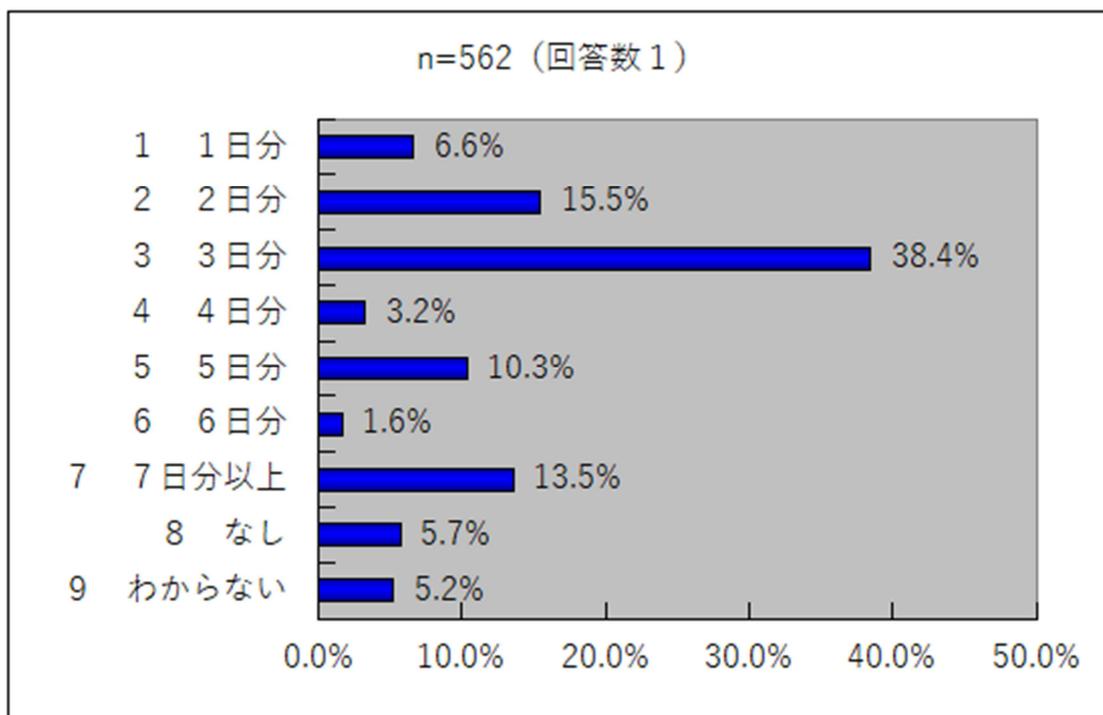
問 13 南海トラフ地震による被害防止・軽減のため、気象庁では令和元年5月 31 日から「南海トラフ地震臨時情報」の運用を開始しています。「南海トラフ地震臨時情報」について知っていますか。(回答数は1つ)

※南海トラフ臨時情報は南海トラフ地震の発生する可能性が、通常よりも高まった場合に発表される情報で、情報の内容やお住まいの地域等によっては事前避難が必要となります。詳しくはこちらを御覧ください。

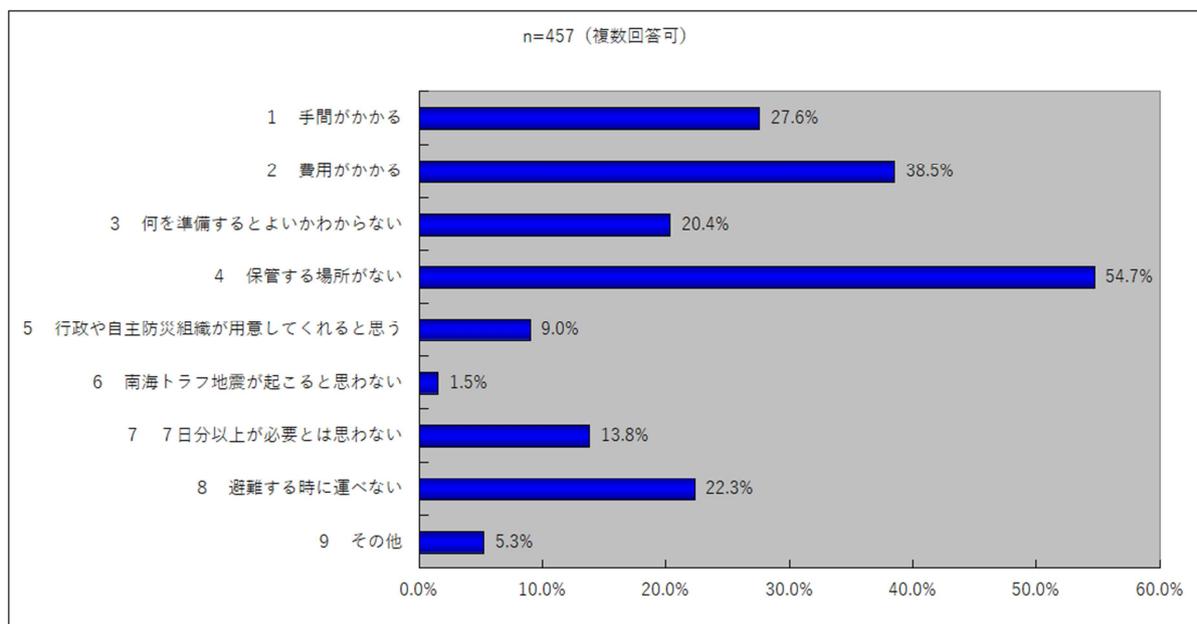
<https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/earthquake/nankaito/rafu/1035406.html>



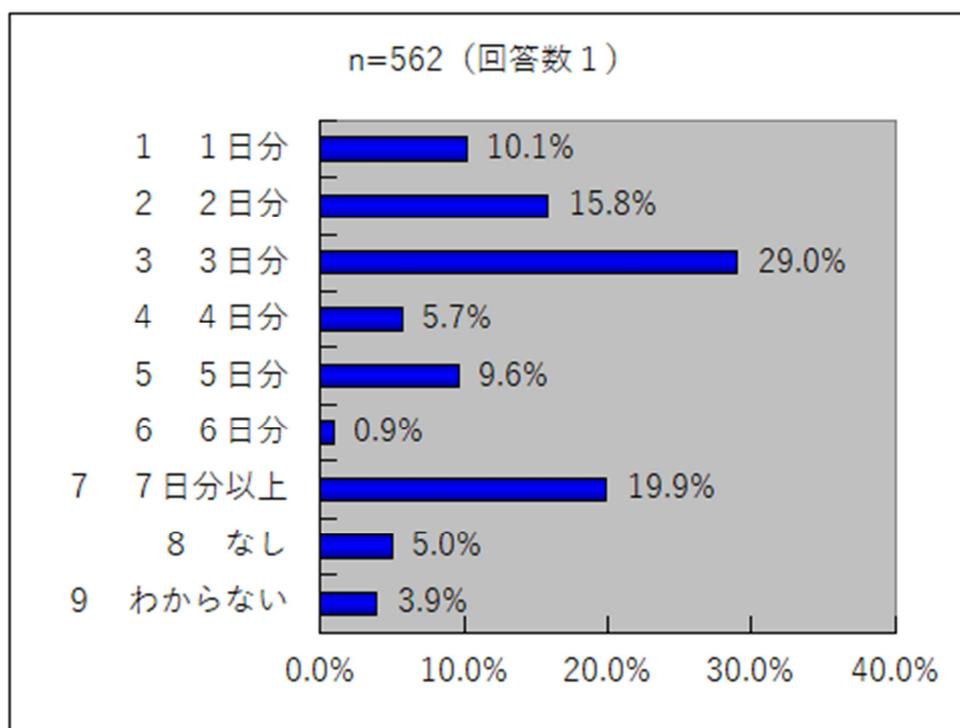
問14 南海トラフ巨大地震のような大規模災害時には、公的な支援物資がすぐに届かず、また、スーパー・コンビニなどの食料品や日用品がすぐ品切れになることも予想されます。このため、各家庭において水や食料を備蓄することが重要です。日常的に利用する保存・調理が容易な食品(缶詰、レトルト食品、インスタントラーメン、果物等)、食べ慣れたもの、食事を楽しむもので工夫することが備蓄のコツです。日頃の備えとして、あなたのお宅では、家族全員分の食料は概ね何日分ありますか。御家族ひとりあたり1日3食として計算してください。(回答数は1つ)



問 14-2 問 14 で選択肢7と選択肢9以外を選択された方にお伺いします。あなたのお宅で7日分以上の食料を用意していないのはどのような理由からですか。(複数回答可)

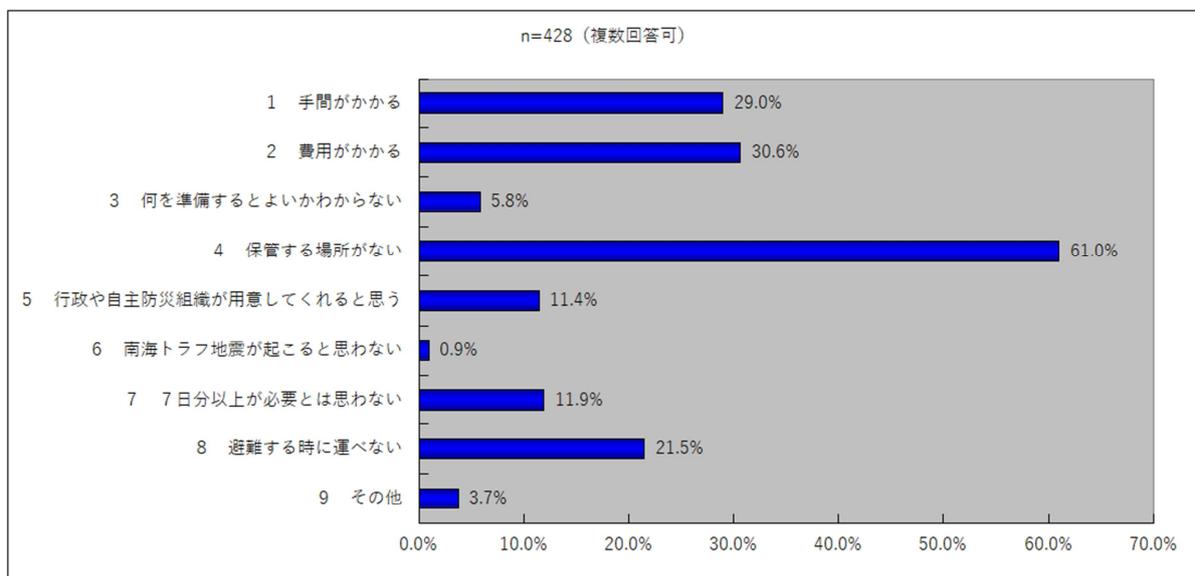


問 15 飲料水は、日常的に飲むもの(ミネラルウォーター、お茶、缶ジュース・ペットボトル飲料、ウォーターサーバー等)、飲み慣れたもの、食事を楽しむもので工夫することが備蓄のコツです。日頃の備えとして、あなたのお宅では、家族全員分の飲料水は何日分ありますか。御家族ひとりあたり1日3リットルとして計算してください。(回答数は1つ)



問 15-2 問 15 で選択肢7と選択肢9以外を選択された方にお伺いします。

あなたのお家で7日分以上の飲料水を用意していないのはどのような理由からですか。  
(複数回答可)

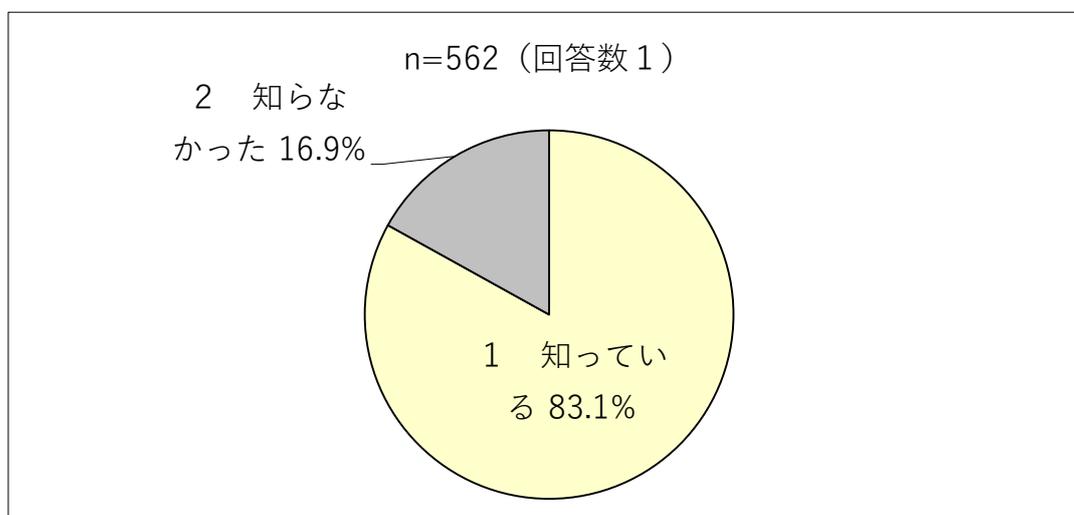


問 16 水や食料を備蓄する際、ローリングストックという備蓄方法がありますが知っていますか。(回答数は1つ)

※ローリングストックは日常的に水や食料を消費し、食べたら買い足すという行為を繰り返し、常に家庭に新しいものを備蓄する方法です。

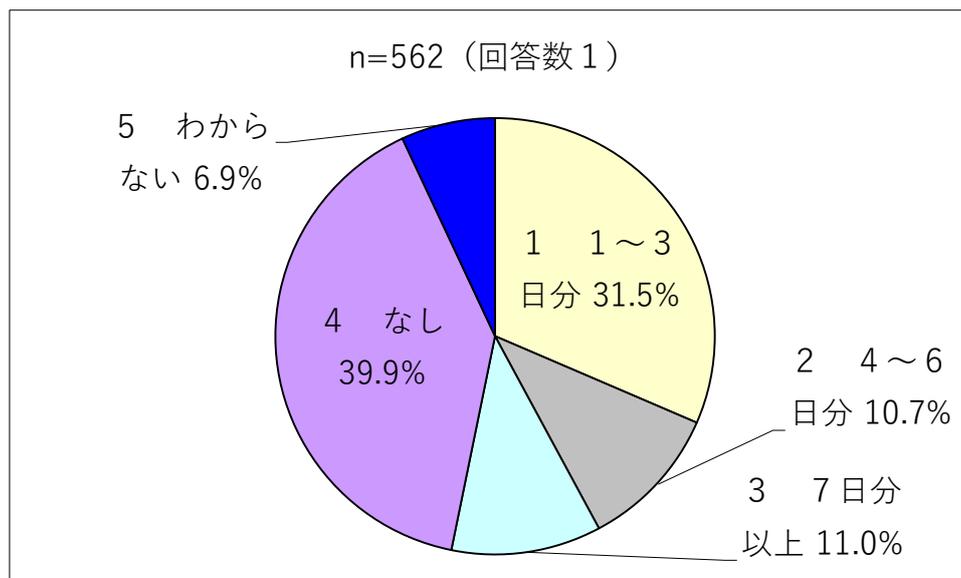
※(参考)災害時の備蓄についての解説はこちらです。ぜひ御覧ください。

<https://www.pref.shizuoka.jp/bousai/chosa/documents/zitakudenoseikatuukeizokukeihatu.pdf>

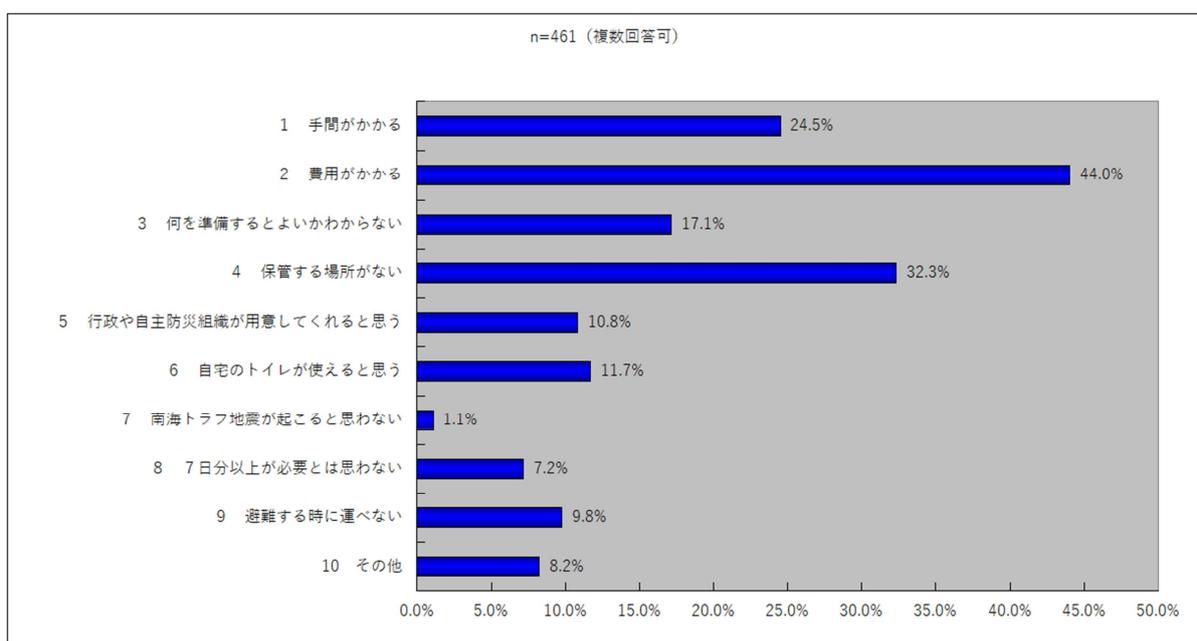


問 17 大規模地震が発生すると、停電や配管の破損などにより水洗トイレが使用できなくなる恐れがあります。あなたのお宅では、概ね何日分の携帯トイレ・簡易トイレを備蓄していますか。御家族ひとりあたり1日5回分として計算してください。(回答数は1つ)  
 ※(参考)携帯トイレについての解説はこちらです。ぜひ御覧ください。

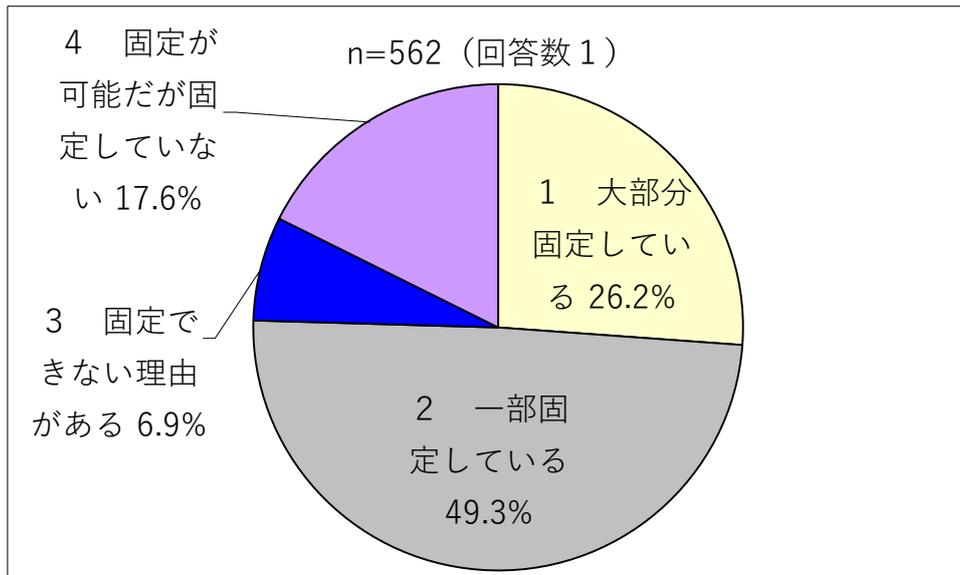
<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/chosa/documents/toilet-reserved.pdf>



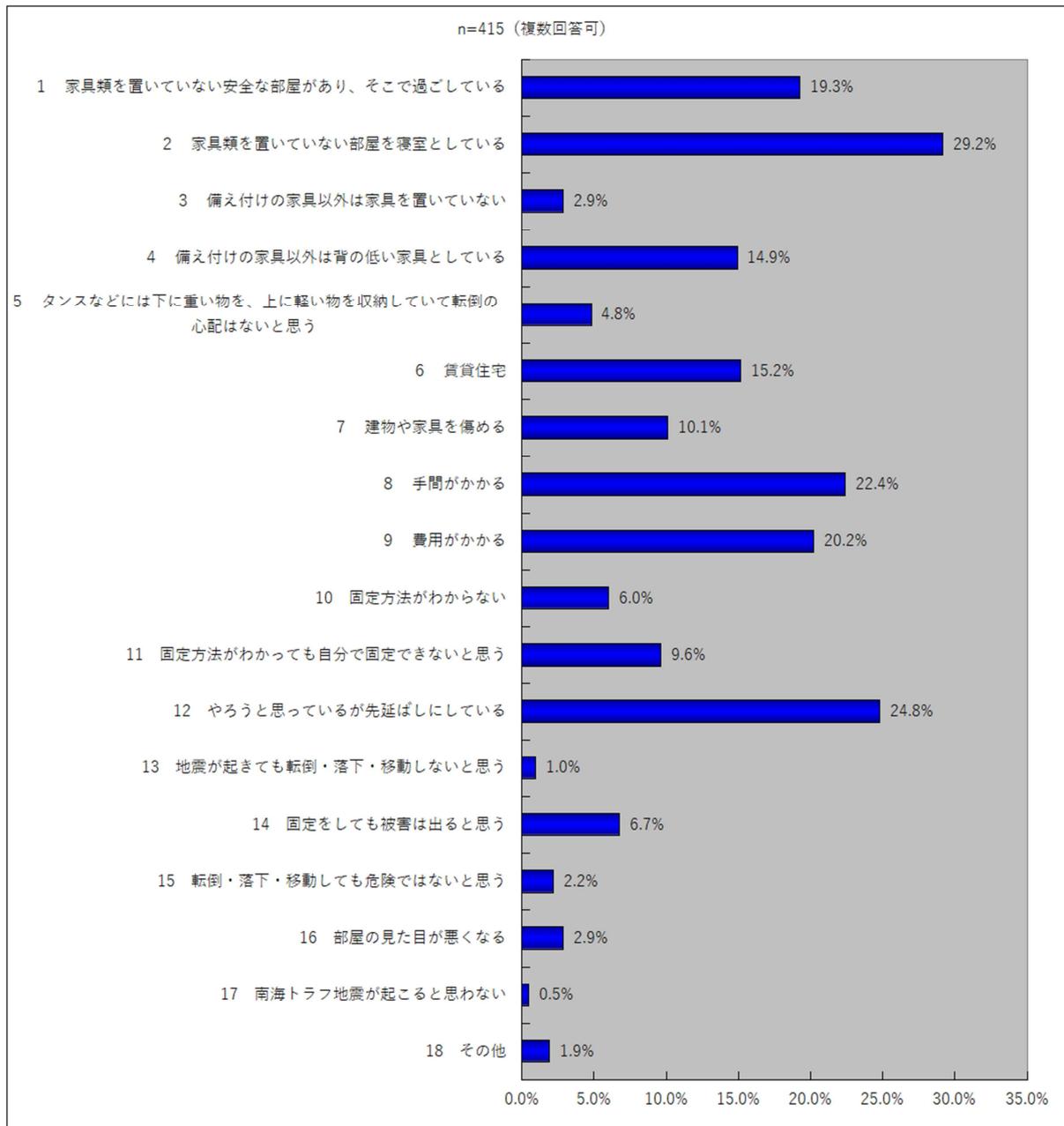
問 17-2 問 17 で選択肢3と選択肢5以外を選択された方にお伺いします。あなたのお宅で7日分以上の携帯トイレ・簡易トイレを用意していないのはどのような理由からですか。(複数回答可)



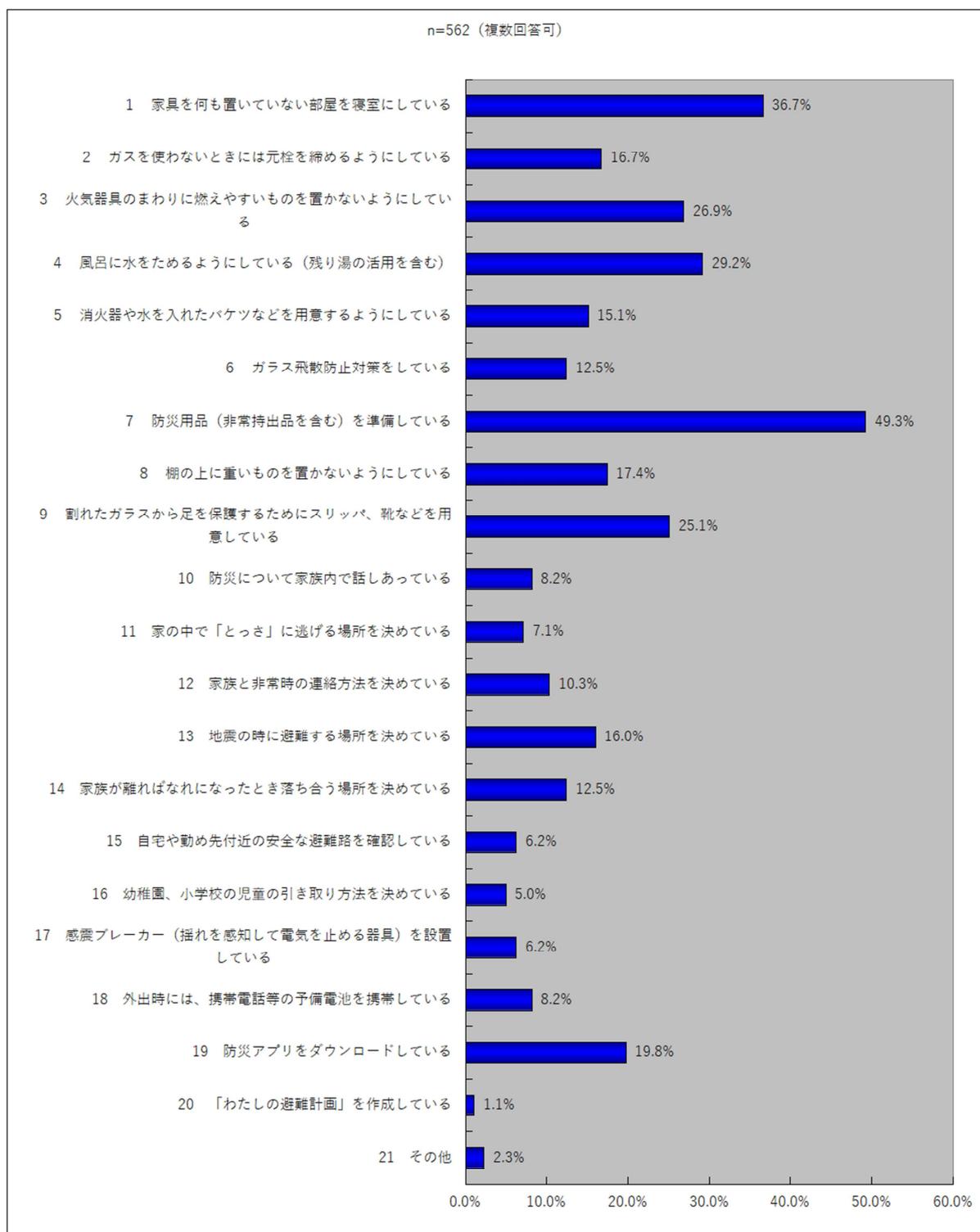
問 18 大地震による被害の有無は、家の耐震化だけではなく、家具の固定の状況に大きく影響されます。1995年の阪神・淡路大震災では、死者 6,434 人の 10%、負傷者 43,792 人の 46%が家具の転倒によるものです(死者数、負傷者数は平成 17 年 12 月 22 現在のものです(消防庁調べ)。)あなたのお宅では、地震に備えて家具類の固定をしていますか。(回答数は1つ)



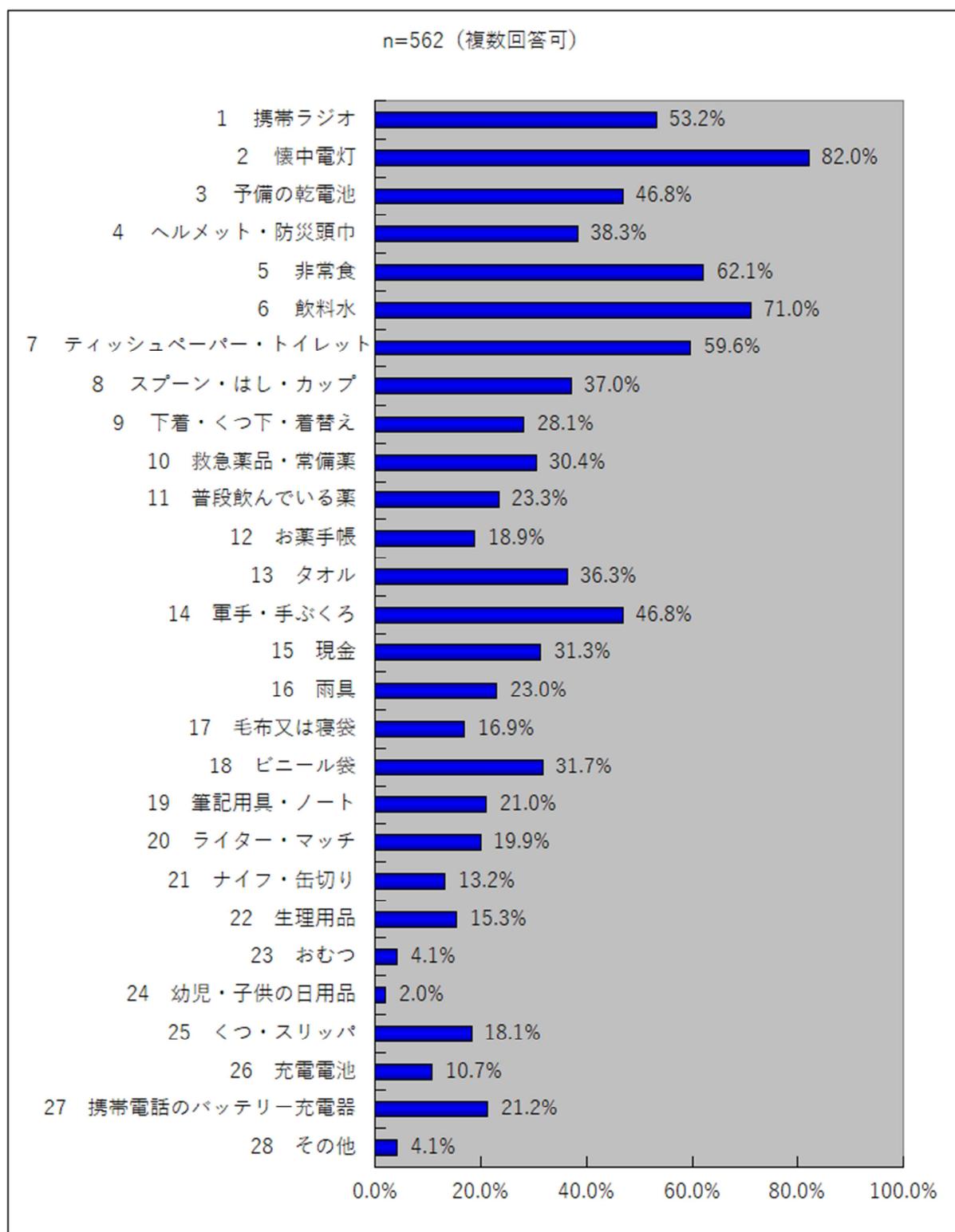
問 18-2 問 18 で選択肢2から4を選択された方に伺います。固定していない家具があるのはどのような理由からですか。(複数回答可)



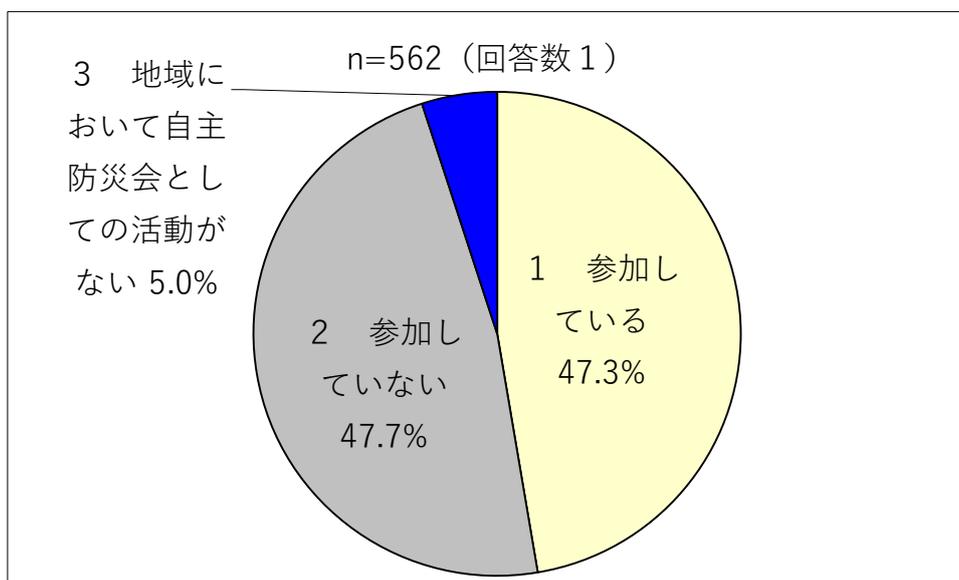
問 19 次にあげるものの中で、南海トラフ地震に備えて自宅や日常生活で実施している防災対策はありますか。(複数回答可)



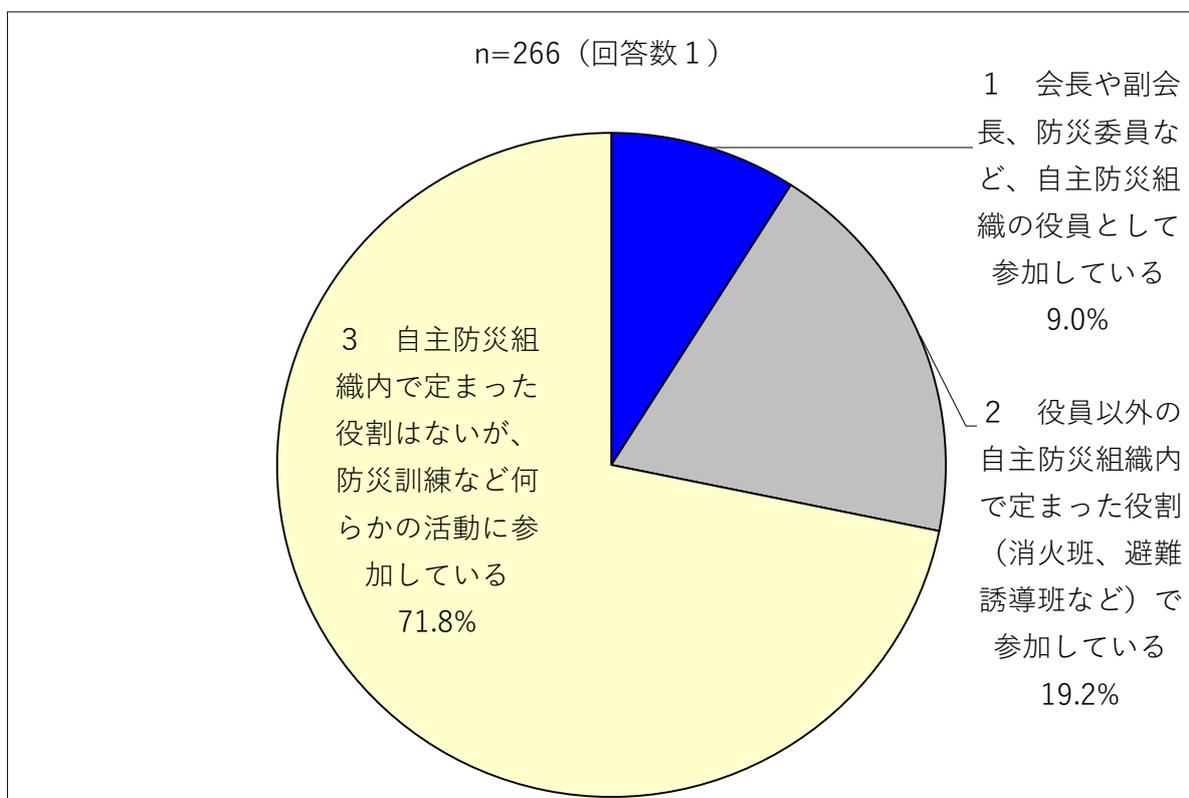
問 20 あなたのお宅では非常持出品として何を用意していますか。(複数回答可)



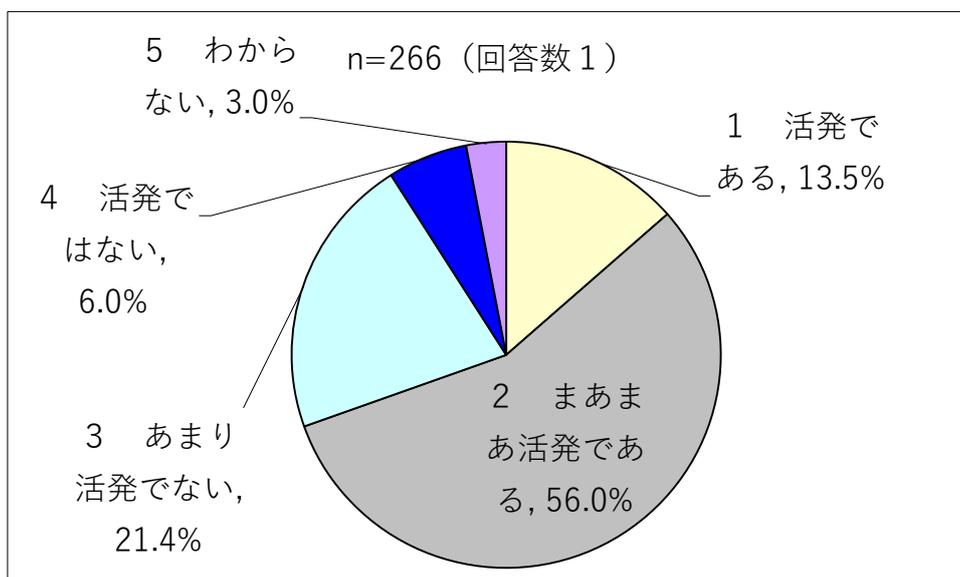
問 21 あなたは、地域の自主防災会の活動に参加していますか。(回答数は1つ)



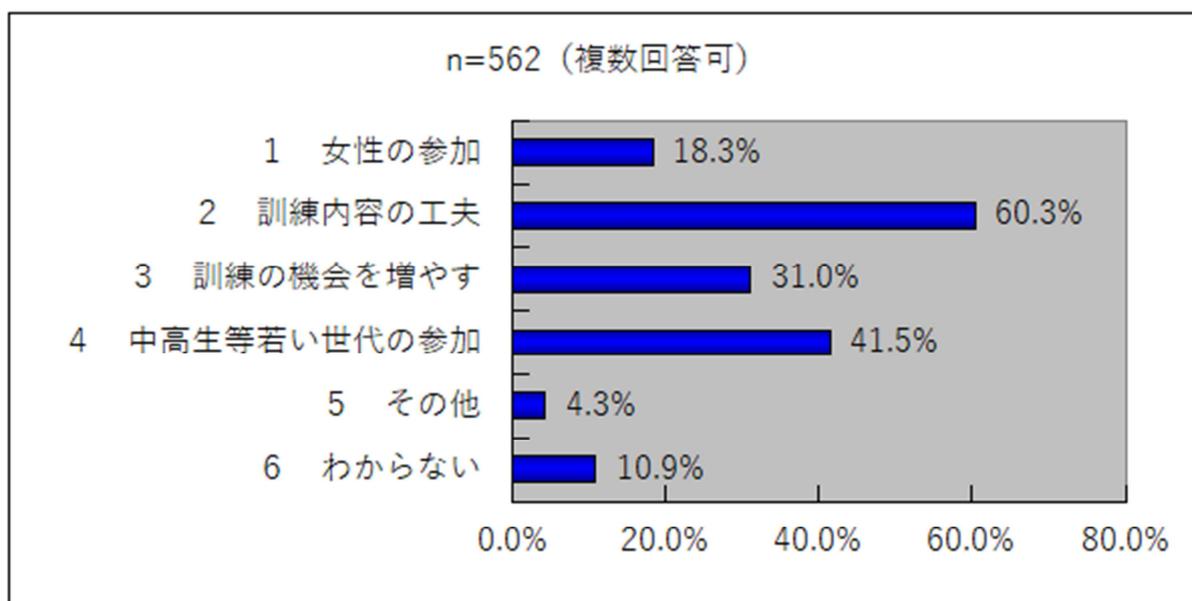
問 21-2 問 21 で選択肢1を選択された方に伺います。あなたは、どのような形で活動に参加していますか。(回答数は1つ)



問 21-3 問 21 で選択肢1を選択された方に伺います。あなたは、地域の自主防災会の活動状況をどう思いますか。(回答数は1つ)



問 22 自主防災活動を活性化するには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可)



問 23 今後、県や市町が行う防災対策について、要望がありますか。(自由回答)(500字以内)

※(参考)最後に、防災情報を入手するスマートフォンのアプリを紹介しますので、是非ダウンロードをお願いします。

<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/application.html>

担当課 危機管理部危機情報課

電話番号 054-221-2644

FAX 054-221-3252

メール [boujou@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:boujou@pref.shizuoka.lg.jp)